

〔 病院理念 〕

- ・常に人命の尊重と人間愛に基づいた医療・介護につとめます。
- ・全ての人に平等に心身両面にわたる医療・介護につとめます。
- ・地域の人達から信頼されるよう研鑽と協調をすすめます。

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 良俊会
ふくの若葉病院



新春のご挨拶

「皆様から信頼され、地域になくはない、皆様の病院」を目指します

み や け さ な え
病 院 長 三 宅 早 苗

明けましておめでとうございます。

昨年10月1日から院長に就任いたしました三宅早苗と申します。

当病院は、今年で13年目を迎えます。その間、一貫して目指してきた事は、亜急性期から終末期まで幅広く良質な医療を提供し、地域の皆様から信頼され、必要とされる病院であり続けるという事です。特に力を入れてきた事は、摂食・嚥下機能の改善、褥瘡（床ずれ）は作らない、たとえ、出きても早期に治す事、また、心が癒される終末期医療を提供する事です。

1. 口から食べられる事は、人間としての生きがいの一つであり喜びでもあります。色々な要因によってその機能が低下、あるいは失われた方々に対して、「栄養チューブからではなく、少しでも、口で味わい人間らしく生きる」を目標に多くの職種が関わり、機能回復に努めております。
2. 褥瘡（床ずれ）治療に関しましても、開院早々から積極的に取り組み、その成果として、近隣施設から「褥瘡ができたなら、ふくの若葉病院へ」とご紹介いただけるようになってきました。
3. 終末期医療に関しましては、職員一丸となって取り組み、「最期をふくの若葉病院で過ごせてよかった」と多くの患者さんやご家族に言っていただけるようになってきました。

更に今年から、「地域交流プロジェクト」を立ち上げ、当院のスタッフが地域の皆様の元へ出かけて、病気や健康管理について色々とお話をさせていただきます。まず、1月16日、23日に「さつき荘」において、高血圧に関して実践的な内容でお話しすることになっています。

本年も、医療・看護・介護の質の向上を図っていくことは勿論の事、地域の皆様のご意見やご要望に広く耳を傾け、「地域の皆様から信頼され、地域になくはない、地域の皆様の病院」を目指し、職員一同これまで以上に尽力していきたいと考えています。

皆様方のご理解とご支援の程よろしくお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって幸多き年になることを祈念して、新春のご挨拶とさせていただきます。

病気の事や、健康管理などについて、お困りの事やご質問などお気軽にご相談ください。

敬老会 9月12日(水)、敬老会を開催しました。今回は、佐藤幸恵先生(フラ・ハラウ・ケオラロア・オ・カレファ・プアケア)の教室の生徒さんが、フラダンスを披露してくださいました。優雅な踊りとメロディーにとっても気持ちが安らぎました。また、介護職員による新体操の披露 普段のユニフォーム姿からは想像もできない、素敵な演目でした。



福野小学生の慰問 10月29日(月)、福野小学校の生徒さんが慰問に訪れ、「桃太郎」の劇を披露してくださいました。子供達の演技を観た入院患者さんや利用者さんからは、「みんな元気でよかった!」「楽しませてもらったよ」「また来てほしいね~」などの感想が寄せられ、とても喜ばれていました。



福野中学校ボランティア委員会の慰問

先月から11月24日(土)、福野中学校ボランティア委員会の生徒さんが慰問に訪れ、「人形劇」や「歌」を披露して下さいました。14歳の挑戦や小学生時代にも訪れたことのある生徒さんもおられ、患者さんや利用者の皆さんに楽しんでいただけるようなプログラムを考えてくださいました。皆さんのお孫さんぐらいの年代の子供たちが元気に歌ったり、演技を披露したりする姿を見て、患者さんも利用者さんも笑顔いっぱいでした。



A E D 操作と心肺蘇生

今年も、応急手当普及員の講習を受けた職員が講師となり、A E Dを使用した救命処置について研修会を実施しました。新規入職者やこれまでに1回しか研修を受けていない職員を対象に、正しい心肺蘇生方法やA E D操作を理解し実践できるよう取り組み、はじめて学ぶ職員は、研修を通して、胸骨圧迫やA E Dの手順など、基本動作をしっかりと身につけることができました。



研修終了後、事故現場に遭遇した看護師より



小学生が車と接触したようすであった。現場は渋滞し、人が集まって騒然としており、私の子供と同じ保育園に通う保護者が倒れている子供に声掛けをしていた。その子の弟と父親は呆然と立ち尽くし、母親は道の真ん中で「どうすればいいですか？」と周囲の人たちに声を掛けていた。周囲から「救急車はまだか～」と叫ぶ人がいた。私は、倒れている人の足が見えたので、路肩に車を停車し駆けつけた。119番通報は済んでいたため、倒れている子供に声掛けを行い、状態を確認した。子供は反応が無く、冷や汗が出ていたため、ズボンを緩め、靴を脱がせ、下肢挙上をおこなった。側に立っていた子供の弟には「大丈夫だよ」と声掛けをした。5分ほど経ち、子供は大きな声で泣きはじめた。救急車が到着し、隊員に子供の状態とレベル状況を報告した。

研修では『緊急時に集まる人達は何をしてよいのかわからない。協力してもらえるよう行動を指示することが大切だ。』と教わったが、実際の事故現場では、怪我人への対処だけで精一杯で、周囲にいた人たちに、何をすべきか示せなかった。《家族のフォローや、周囲への指示も、私たち、医療従事者の大切な役割である》ことを改めて感じました。

コードE訓練

予告せず、各階病棟において、救急救命訓練「コードE」を実施しました！夜勤帯、病室巡回中、ベッドで意識を失っている患者さんを、職員が発見するところから訓練が開始となりました。患者さんの状態を確認し、周囲にいる他の夜勤職員に助けを呼び、病棟の緊急館内放送により、病室へ医師や他の病棟の職員が駆けつけ、状態確認、心臓マッサージ、A E D操作を実施しました。



ホルター心電図のお知らせ

当院では、あなたの日常生活中心臓の状態がわかる

24時間心電図検査を実施しています。

最近、こんな症状に心あたりはありませんか？

1. 1回だけ「ドクン」と脈がとんだり、強く打つように感じる
2. 瞬間的に「うっ」と胸が詰まるように感じる
3. 安静にしているときに脈が抜ける
4. 急に脈が速くなる
5. 胸がドキドキする
6. 胸がもやもや、ザワザワする
7. 急に脈が遅くなる
8. 目の前が暗くなる
9. めまい、ふらつきがある
10. 失神する



これらの症状は検査の必要な不整脈かもしれません。

ひとつでも心あたりのある方は当院にご相談ください。

診療内容・診療時間・アクセスマップ

診療科

内科、神経内科、リハビリテーション科

外来診療

午前：9:00～12:00

午後：13:00～16:00

	月	火	水	木	金
午前					
午後					

休診日

土曜、日曜、祝祭日、

お盆(8/14～16)、年末年始(12/30～1/3)

アクセスマップ



日本医療機能評価機構認定病院

医療法人社団 良俊会

ふくの若葉病院

〒939-1521 富山県南砺市苗島367番地

TEL 0763-23-1011 FAX 0763-23-1020

インターネットで検索ください！！

<ホームページ>

<http://www1.tst.ne.jp/wakaba/>

<ブログサイト>

<http://fukunowakaba.blogspot.jp/>